

検討結果 (H28. 11. 16)

【避難時の行動】

判定	項 目
×	家族の中でリーダーを決めておく。
○	家族の安否確認する必要があるため、日頃から情報を共有すべきである。 → 伝言ダイヤルの使い方を含める。
○	災害（地震・大雨）に応じて、避難先の順番もあらかじめ決めておく。
×	みんなで協力し合うため、自治会に加入する。
×	（学校として）地域の実情を理解しておく。
○	避難所をあらかじめ確認しておく。
○	避難ルートをあらかじめ考えておく。
○	日頃からの訓練が重要である。 → 日頃からの訓練を生かした行動をする。
○	災害（地震・大雨）に応じてとなるが、避難時の判断が重要となる。 → 早めの非難を心掛ける。
○	自分自身の安全確保、家族の安全確保が 必要であるを図る。
○	要援護者（高齢者や障害者）に気を 付ける かけ、 避難に協力する。
○	（学校での震災時には）名簿を活用し、その存否などを確認する。 → 団体行動の際には、人員を把握する。
○	被保険者証を 持参する ・ お薬手帳を常に携帯する。
○	震災後の延焼等を防ぐため、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めて避難する。
○	非常用持出品を 必ず持参することを記載すべきである。
○	避難時は隣近所で確認し合う。
×	（交差点などの誘導のため）PTA に応援を依頼する。
○	被害状況を伝達できるように道路の状況などをよく見ながら避難し、被害状況を伝達できるようにする。
○	切れている電線、壊れた階段・歩道橋には近づかない。
○	崩れやすい塀のそばは通らない。
×	避難所のリーダーを決める。